

「こどもの読書週間！」



お知らせ 新型コロナウイルスの感染状況によっては、延期または中止する場合があります。

図書館員オススメの本

一般 エンド・オブ・ライフ



佐々 涼子/作 集英社/出版
ノンフィクション作家が描く在宅終末医療の7年間。最期を迎える家族の選択の日々。訪問看護師として働き、200人の患者を看取ってきた友人も、余命宣告を受ける。彼は何を望み、残りの時間をどう生きたいのか。命と向き合う人たちが私たちに問いかける感動の1冊。

絵本 会いたくて会いたくて



室井 滋/作 小学館/出版
ポクのおばあちゃんはひまわりホームにいる。なかなか会えないおばあちゃんが渡してくれたいものは?大切な人に会いたくても会えない日々が続きます。おばあちゃんが語りかけてくれる言葉に、この会えない時間も大切な時間だとさっと読者も気付かされる1冊です。

南島原市図書館だより vol.176

南島原市図書館
きてみんなね!

イラスト・題字: 長谷川義史



こどもの読書週間 4月23日(金)~5月12日(水)
「いっしょによもう、いっばいよもう」

図書館紹介

口之津図書館

●春のホンまつり...5月12日(水)まで実施中!

子どもから大人までみんなが楽しめる児童書の特集しています。
児童書を5冊以上借りた人へ花の種をプレゼント!(※なくなり次第終了)



図書館行事とお知らせ

加津佐図書館

- 「リイドシールをあつめてわくわくプレゼントをゲット!」
- 4月17日(土)~7月17日(土)
- 「雨の工作教室~おしゃべりガーガーがえるをつくろう!」
- 5月22日(土) 午後2時~3時
- 加津佐総合福祉センター 希望の里 館20人(要申込) 無料

西有家図書館

- 「テーマ別おはなしセット」
- 「図書館クイズ」
- 「折り紙でこのぼりのしおりを作ろう」
- 4月23日(金)~5月12日(水)
- 「母の日工作教室」
- 5月5日(水) 午前10時30分~11時30分
- 西有家総合学習センターカマス 館10人(要申込) 無料

北有馬図書室

- 「ぬいぐるみおとまり会」
- 5月6日(木)~7日(金)
- 「クイズラリー」
- 4月23日(金)~5月12日(水)
- 北有馬ピロティ文化センター日野江

深江図書館

- 「ゴーゴーおはなし会」
- 5月8日(土) 午後1時30分~2時
- 深江公民館 館20人(要申込)
- 「母の日工作教室 ~カッティングボード作り~」
- 5月9日(日) 午前10時30分~正午
- 深江公民館 館親子5組(要申込) 無料

布津図書室

- 「つくって飛ばそう!紙飛行機大会」
- 5月9日(日)~16日(日) ※雨天時休止
- 布津公民館

つなごう未来へ!
島原半島ユネスコ世界ジオパーク



島原半島ジオパーク協議会 ☎0957-65-5540
E-mail: info@unzen-geopark.jp

【定点】① ~あの日のお出来事~



「定点」と、そこに建てられている白い三角すい (令和2年10月9日撮影)

1991(平成3)年5月20日に出現が確認された溶岩ドームは、日に日に大きくなりました。そして5月24日にはついにその一部が崩れ、火砕流が発生し始めました。当時、火砕流という噴火現象は、日本はもちろん、世界的にもあまり目撃事例がなく、珍しいものでした。島原市北上木場町の葉タバコ畑の中を通る県道の一部は、視界がぱっと開け、谷の中を流れ下る火砕流をほぼ真正面

から見る事ができたため、多くの人が集まるようになりました。そしてその場所は、いつしか火砕流を撮影する「定点」と呼ばれるようになりました。

6月3日、朝から天気は下り坂でした。梅雨前線の接近に伴い、午後から雨がぱらつき始め、溶岩ドームは雲の中に隠れがちでした。午後3時半過ぎからは溶岩ドームの崩落が相次ぎ、繰り返し火砕流が発生していました。そんな状況の中、午後4時8分、溶岩ドームが大きく崩れ、規模の大きな火砕流が発生しました。水無川を流れ下った火砕流の本体は「定点」の手前で止まりましたが、火砕流と同時に発生した高温・高速の熱風(火砕サージ)は、そのまま「定点」の周辺にいた人たちをのみこんでしまいました。

この出来事から30年が過ぎようとしています。次回は、この時の経験を未来の世代に引き継ぐ取り組みをお伝えします。

※「定点」は砂防指定地内にあるため、通常は立入りできません。

こんにちは!消費生活センターです 南島原市消費生活センター ☎82-3010

5月は消費者月間です! 令和3年度 消費者月間統一テーマ「消費」で築く新しい日常

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、マスクをはじめとする生活用品の買い占め、買いだめなどが発生しました。市民の皆さんもお店の一部の棚が空になった光景は記憶に新しく、困ったこともあったのではないのでしょうか。

私たち消費者には、「今だけ」「自分だけ」という消費行動を改め、社会全体のこと、将来のことを考えた合理的な消費行動が求められています。

コロナ禍において、社会は急速にデジタル化が進展しています。情報が氾らんするなかで、消費者の不安な心理につけ込んだ悪質商法も発生しています。

新たな消費者被害を防止するためには、行政による消費者施策の推進に加え、消費者の自立と事業者の自主的取組の加速化など、消費者、事業者、行政が一体となって取組を進めることが重要です。

<持続可能な社会のために私たちにできること>



消費(=買い物)は、その商品・サービスの作り手や販売店への「投票」であり「応援」です。例えば、環境に配慮した商品を買う人が増えれば、同様の商品がたくさん作られるようになり、環境保護が進みます。その意思表示は社会全体に影響を与えるのです。

安心・安全な新しい日常を作るのは、私たち一人ひとりの「消費」行動です。この月間を機に考え、行動に移しましょう。

【お問い合わせ】 ☎73-(各図書館下4桁) *詳しいことは、ホームページや各図書館でご確認ください。 南島原市図書館 検索

- ・深江図書館...6717
- ・布津図書室...6726
- ・有家図書館...6737
- ・西有家図書館...6747
- ・北有馬図書室...6754
- ・原城図書館...6767
- ・口之津図書館...6777
- ・加津佐図書館...6787